

平成 30 年度論文一覧

【審査付論文】

[測地観測センター]

- ・川元智司・高松直史・阿部聡・宮川康平・太田雄策（東北大学大学院）・等々力賢（富士通研究所）・西村卓也（京都大学防災研究所）（2018）：Real-time GNSS analysis system REGARD: An overview and recent results（リアルタイム GNSS 解析システム REGARD の概要と最近の成果），Journal of Disaster Research, Vol 13, No. 3, 440-452.
- ・辻宏道・畑中雄樹（地理地殻活動研究センター）（2018）：GEONET as Infrastructure for Disaster Mitigation（防災インフラとしての GEONET），Journal of Disaster Research, Vol.13 No.3, 424-432

[地理地殻活動研究センター]

- ・小林知勝・森下遊・宗包浩志（2018）：First detection of precursory ground inflation of a small phreatic eruption by InSAR（InSAR により初めて捉えられた小規模水蒸気噴火に前駆する地盤膨張），Earth and Planetary Science Letters（地球及び惑星科学レター），vol.491, 244-254.
- ・宗包浩志（2018）：A GNSS Kinematic Analysis System for Japanese GEONET Stations（電子基準点キネマティック解析システム），Journal of Disaster Research（災害研究），vol.13, 433-439.
- ・宗包浩志（2018）：キネマティック GNSS 時系列に含まれる微小信号の抽出，測地学会誌，64 巻，1-11.
- ・水藤尚（2018）：Current status of postseismic deformation following the 2011 Tohoku-Oki earthquake（2011 年東北地方太平洋沖地震の余効変動の現状），Journal of Disaster Research（災害研究），Vol.13, 503-510.
- ・宇根寛・小松原琢（産業技術総合研究所）・宮地良典（産業技術総合研究所）中埜貴元（2018）：地球科学が液状化防災に貢献するために，地学雑誌，127 巻 3 号，423-438.
- ・小荒井衛（茨城大学）・中埜貴元・宇根寛（2018）：液状化リスク評価のための液状化被害と地形との関係性—利根川中下流域・東京湾岸地域の被害を対象に—，地学雑誌，127 巻 3 号，409-422. 共著
- ・小林知勝（2018）：Locally distributed ground deformation in potential area of phreatic eruption, Midagahara volcano, Japan, detected by single-look-based InSAR time series analysis（シングルルック解像度の InSAR 時系列解析により捉えられた弥陀ヶ原火山における水蒸気噴火発生場の局所地盤変動），Journal of Volcanology and Geothermal Research（火山・地熱研究誌），357, 213-223.
- ・森下遊・小林知勝（2018）：ALOS-2 干渉 SAR 時系列解析で検出された霧島山の地表変位と大気遅延誤差低減処理の効果，測地学会誌，64 巻，28-38.
- ・山崎雅（産業技術総合研究所地質調査総合センター）・小林知勝（2018）：Imaging a low viscosity zone beneath the Kutcharo caldera, eastern Hokkaido, Japan, from geodetic data（北海道・屈斜路カルデラ下にある低粘性帯の測地データによるイメージ），Earth and Planetary Science Letters（地球及び惑星科学レター），Vol.504, 1-12. 共著
- ・岩橋純子・松四雄騎（京都大学）（2019）：昭和期に収集された山間部の国道沿い斜面における検土杖貫入深および表層物質の統計，地すべり学会誌，56 巻 1 号，38-45.

【審査無し論文】

[測地部]

- ・若杉貴浩・栗原忍・上芝晴香・梅井迪子・石垣真史・宗包浩志（2018）：Current Status of VGOS Observations

with Ishioka VLBI Station (石岡VLBI観測施設におけるVGOS観測の現状), Proceedings of the 10th General Meeting of the International VLBI Service for Geodesy and Astrometry (第10回国際VLBI事業総会集録), 印刷中.

- ・大滝修・加古考範・井上武久(地理地殻活動研究センター)・兒玉篤郎・湯通堂亨(測地観測センター)・三浦優司(測地観測センター)・古屋智秋(内閣府)・佐藤明日花(北海道地方測量部)(2018):東北地方日本海側を中心とした水準点の測量成果の改定, 国土地理院時報, 第130集, 69-73.
- ・本田昌樹・山下達也・上芝晴香・攪上泰亮(測地観測センター)・林京之介・桑原將旗・松本紗歩・仲井博之(国土交通大学校)・酒井和紀・宮原伐折羅(地理地殻活動研究センター)・宗包浩志・飛田幹男(企画部)・矢来博司(地理地殻活動研究センター)・小林知勝(地理地殻活動研究センター)・森下遊(地理地殻活動研究センター)・藤原智(地理地殻活動研究センター)(2018):だいち2号SARデータの解析による霧島山噴火に伴う地表変動の検出, 国土地理院時報, 第130集, 93-108.
- ・山本宏章(九州地方測量部)・宮原伐折羅(地理地殻活動研究センター)・吉田賢司(企画部)・菅原安宏(地理地殻活動研究センター)(2018):国土地理院の重力測量の歴史-観測技術と重力基準の変遷-, 国土地理院時報, 第131集, 1-19.
- ・山本宏章(九州地方測量部)・宮原伐折羅(地理地殻活動研究センター)・吉田賢司(企画部)・菅原安宏(地理地殻活動研究センター)・宮崎隆幸(地理地殻活動研究センター)(2018):国土地理院の重力測量, 国土地理院時報, 第131集, 21-52.
- ・吉田賢司(企画部)・矢萩智裕・平岡喜文・宮原伐折羅(地理地殻活動研究センター)・山本宏章(九州地方測量部)・宮崎隆幸(地理地殻活動研究センター)(2018):日本重力基準網2016(JGSN2016)の構築, 国土地理院時報, 第131集, 53-93.
- ・宮原伐折羅(地理地殻活動研究センター)・吉田賢司(企画部)・山本宏章(九州地方測量部)・松尾功二(地理地殻活動研究センター)・宮崎隆幸(地理地殻活動研究センター)・宗包浩志(2018):国土地理院の重力測量の展望-測定技術と重力基準の将来像-, 国土地理院時報, 第131集, 65-108.
- ・菅原安宏(地理地殻活動研究センター)・宮原伐折羅(地理地殻活動研究センター)・吉田賢司(企画部)・山本宏章(九州地方測量部)・福田洋一(京都大学)(2016):南極地域における国土地理院の重力測量-地球規模の重力場測定への貢献-, 国土地理院時報, 第131集, 109-121.
- ・矢萩智裕・吉田賢司(企画部)・宮崎隆幸(測地観測センター)・平岡喜文・宮原伐折羅(地理地殻活動研究センター)(2018):Construction of the Japan Gravity Standardization Net 2016(日本重力基準網2016の構築), Bulletin of the Geospatial Information Authority of Japan, Vol.66, 43-52.
- ・梅井迪子・若杉貴浩・栗原忍・吉川忠男・上芝晴香・松本紗歩(2018):VGOSの現状と展望, 2018年度VLBI懇談会シンポジウム集録, 印刷中.
- ・松本紗歩・上芝晴香・栗原忍・吉川忠男・若杉貴浩・梅井迪子(2018):2018年国土地理院機関報告, 2018年度VLBI懇談会シンポジウム集録, 印刷中.
- ・若杉貴浩(2018):Recent Progress of VGOS and its contribution to GGOS(VGOSの現状とそのGGOSへの貢献), Proceedings of the 21st International Workshop on Laser Ranging(第21回国際レーザ測距ワークショップ集録), 印刷中.

[基本図情報部]

- ・笹川 啓(2019): UAVによる正射画像及び3次元計測の精度検証, 計測技術, 2019 Vol.47 No.1, 1-7.

[応用地理部]

- ・吉田一希 (2018) : 平成 30 年 7 月豪雨に伴う高梁川流域と肱川流域の浸水範囲と浸水深分布の推定, 日本リモートセンシング学会誌, 第 38 巻, 5 号, 422-425.
- ・植田摩耶・中澤尚・安喰靖・齋藤俊信・飯田誠・山中崇希 (2018) : 1:25,000 活断層図「熊本 改訂版」及び「阿蘇」の公開, 国土地理院時報, 第 130 集, 9-12.
- ・土橋広宣・長野玄・岡本勝浩・沼田佳典 (2018) : 火山基本図データの整備, 公開, 国土地理院時報, 第 130 集, 89-92.
- ・藤井夢佳・上芝卓也・吉松直貴・大角光司 (2018) : さらに使いやすい「国土交通省ハザードマップポータルサイト」を目指して, 国土地理院時報, 第 130 集, 119-122.

[測地観測センター]

- ・多田直洋・大中泰彦 (九州地方測量部)・宮川康平 (測地部)・酒井和紀 (測地部)・古屋智秋 (内閣府)・鎌苅裕紀 (北陸地方測量部)・山尾裕美 (測地部)・檜山洋平 (国土交通省)・畑中雄樹 (地理地殻活動研究センター) (2018) : 屋外 3 次元空間における高精度衛星測位の適用範囲拡大のための技術開発, 国土地理院時報, 第 130 集, 109-117.

[地理地殻活動研究センター]

- ・藤原智 (2018) : 宇宙から地震を見る, 電気評論, 655 号, 40-44.
- ・藤原智・矢来博司・小林知勝・飛田幹男 (測地部)・村上亮 (北海道大学)・西村卓也 (京都大学) (2018) : 3 世代にわたる日本の人工衛星によって見出された 1993 年から 2016 年にかけての屈斜路カルデラ内アトサプ火火山群の地殻変動, 国土地理院時報, 第 130 集, 37-49.
- ・中埜貴元・大野裕幸 (2018) : 地震時地盤災害推計システム (SGDAS) の妥当性の検証, 国土地理院時報, 第 130 集, 51-68.
- ・小林知勝・森下遊・山田晋也 (2018) : 干渉 SAR 時系列解析プロトタイプシステムの開発, 国土地理院時報, 第 130 集, 123-133.
- ・小林知勝・森下遊・矢来博司・藤原智 (2018) : InSAR-derived crustal Deformation and Reverse Fault motion of the 2017 Iran-Iraq Earthquake in the Northwestern Part of the Zagros Orogenic Belt (干渉 SAR により検出されたザグロス造山帯北西部で発生した 2017 年イラン-イラク地震の地殻変動と逆断層運動), Bulletin of the Geospatial Information Authority of Japan (国土地理院報告) 第 66 巻, 1-9.
- ・岩橋純子・山岸宏光 (2018) : GIS を用いた斜面崩壊の解析法—実践経験にもとづいて—, 防災・環境のための GIS (山岸宏光編著), 24-38.
- ・小荒井衛・長谷川裕之・中埜貴元 (2018) : 時系列地理情報を活用した盛土の脆弱性評価, 防災・環境のための GIS (山岸宏光編著), 71-87.